

平成30年2月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年2月分について、輸出は「金属鉱及びくず」などが減少したものの、「自動車」、「鉄鋼」などが増加したことから、対前年同月比19.7%の増加となった。また、輸入は「有機化合物」などが増加したものの、「果実」、「自動車」などが減少したことから、同13.7%の減少となった。

その結果、差引額は1,911億円（同32.3%の増加）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	2,382億円	+19.7%	470億円	▲13.7%	1,911億円	+32.3%
	11カ月連続の増加		6カ月ぶりの減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率	
輸出	増加品目	(1)自動車	2,318億円	+20.6%	輸入	増加品目	(1)有機化合物	9億円	+399.9%	
		(2)鉄鋼	12億円	+41.4%			(2)鉄鋼	28億円	+20.7%	
		(3)荷役機械	7億円	+17.9%			(3)とうもろこし	3億円	+66.9%	
	減少品目	(1)金属鉱及びくず	4億円	▲45.5%		減少品目	(1)果実	3百万円	▲99.9%	
		(2)プラスチック	4億円	▲41.6%			(2)自動車	396億円	▲3.1%	
		(3)精油・香料及び化粧品類	3億円	▲31.8%			(3)絶縁電線及び絶縁ケーブル	1百万円	▲99.8%	
	地域別動向					地域別動向	西欧、北米が減少、アジアは増加			

（参考）ドルレートは、109.26円（前年同月比3.7%、4.14円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。